

文●武井 寛史 写真●内藤 敬仁
 text by TAKEI Hirofumi
 photos by NAITO Takahito
 協力●G-Tech Japan
<http://www.g-techmbh.jp/>
 企画・制作●企画集団<音漢 movies>

オフロードスタイルの G-Tech版500Lが登場!

TUNING

フィアット/アバルトのチューナーとして
 確固たる地位を確立する「G-Tech」が
 フィアット500Lをチューニング。
 他に類を見ない仕上がりがさすが。



▶▶ G-Tech 500L RS105 CROSSOVER

ドイツのチューニングメーカー「G-Tech」のパーツやコンプリートモデルを展開する「G-Techジャパン」からニューモデルが登場。日本には正規輸入されていない500Lに「G-Tech」パフォーマンスキットを組んだ「G-Techジャパン」のみの限定モデル「RS105クロスオーバー」だ。

オリジナルの500Lに搭載されるエンジンは1.3ℓディーゼルトーボの85ps。車重が1315kgの500Lには非力なイメージは拭えない。そこで「G-Tech」のパフォーマンスキットをインストールすることにより、105psまでパワーアップ。結果、オリジナルよりも力強いトルクを発揮し、軽快な加速を見せるモデルへと変貌。また、高速走行時も、車内の静寂性が保たれ、いたって快適。高速巡航走行でもストレスを感じることがない。追い越しの際もアクセルを踏み込めば気持ち良く加速してくれる。気になる燃費性能は、高速道路はもちろん、渋滞が多い市街地での燃費効率がとても良く、走行条件にもよるが、15ℓ/20kmℓは走るそう。燃料は軽油なので財布にも省燃費というわけだ。「RS105クロスオーバー」の魅力は、オリジナルよりも約400mm高くなった車高。ホイールも17インチにアップし、オフロードタイヤを装着。オンロードとオフロード、両方で高い走破性を得ている。車高が高くなったため視認性も向上。運転が苦手な方でも楽にドライブできる。乗車定員は5名。車内はゆとりとして圧迫感はない。

「RS105クロスオーバー」は、都会的な雰囲気を持ったオシャレなトレッキグモデルという位置付けなのだ。Ⓡ



リアシートは広く大人3名がゆったり座れる。リアゲートを開けると約200ℓのラゲッジスペースが出現。さらにリアシートを倒すと約400ℓのラゲッジスペースになり、多くの荷物を載せることができる。



インテリアはシンプルでオシャレ。エコモードやアイドリングストップ機能が備わり、渋滞が多い都会での使い勝手はバツグン。トランスミッションは5速デュアラジック。ATとMTモードのセレクトが可能。

SPECIFICATIONS

G-Tech RS105 OFFROAD

全長：4270mm	最大トルク：220Nm/2300rpm
全幅：1800mm	トランスミッション：5速デュアラジック
全高：1719mm	サスペンション：(F) マクファーソン ストラット
ホイールベース：2612mm	(R) トーションビーム
エンジン：1.3MTJ コモンレール式ディーゼルトーボ	ホイール：17インチ
排気量：1248cc	タイヤ：225/55R17
最高出力：105ps/3990rpm	

TUNING MENU

- G-Tech パフォーマンスキット (85PS → 105PS)
- オフロードタイヤ
- G-Tech シリアルプレート
- ルーフキャリア(オプション)
- リフトアップ

問い合わせ：G-Tech Japan
 TEL：052-400-5554
 HP：<http://www.g-techmbh.jp/>
 車両本体価格：363万円(消費税含)
 オプションルーフキャリア 10万6380円(税抜)



エンジンは1.3MTJ コモンレール式ディーゼルトーボ。ダウンサイジングされたエンジンに低速域からブーストがかかるセッティングとなり、ターボが装備されている感覚がなく、とてもスムーズな加速を見せる。さらに「G-Tech」のパフォーマンスキットもインストールされているので加速感も十分満足できる。燃費性能もスポイルされていないのはうれしい。